発行:新しいステージの神戸をつくる会
Jan. 2021 第13号
651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新芙蓉ビル内
TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

KOBE 上昇気流 Vol 13

あなたとともに、神戸を新しいステージへ

みなさまのご支援により、2期目の市政を担わせていただいて、4年目に入りました。この間のご支援ご協力に、心から御礼申し上げます。

昨年以来、新型コロナウイルスへの対応では、市民生活と経済活動への影響を最小限にしながら、感染拡大の防止に万全を期さなければならない状況です。みなさまには、大変なご苦労の中でご協力をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。

一方で、まちの活力を高める取組みを進めています。昨年6月に北神急行電鉄を市営化し、運賃を値下げしました。名谷、垂水、西神中央では、図書館の整備などで街の顔となる駅前のリニューアルを進めています。三宮では、この春に阪急の新ビルが開業し、再整備に向けた動きが見えてきました。

これらをはじめこの1年間の主な取組みを紹介させていただきます。ご一読いただければと思います。

これからも、神戸市政へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和3年1月
神戸市長 久元喜造（ひさもと きぞう）

随時、日々の情報を発信しています!!

Twitter「久元喜造（神戸市長）」
Facebook「神戸市長 久元喜造」
ブログ「久元喜造ブログ」

公式Webサイトもご覧ください

リニューアルしました！
スマホでも見やすく
SNSやブログの新着情報も
すべてここで確認できます

久元きぞう 上昇気流 検索

令和2年6月

神出山田自転車道に「BE KOBE」モニュメント

30日 北区にあるつくはら湖に「BE KOBE」モニュメントを設置。ここを通る神出山田自転車道は、豊かな自然や伝統文化が息づく地域の魅力を感じられるサイクリングロードで、令和元年度にリニューアルオープンしたところです。自転車道では、シェアサイクルで人との密集を避けた余暇が楽しめます。

令和2年7月

異常高温対策

9日 異常高温対策をさらに強化することを発表。昨年はこれまで経験のないような高温になりました。市役所の南にある東遊園地に「熱電素子」を利用したクールベンチを試験的に設置しました。また、旧居留地周辺では、散水・打ち水など高温対策を行いました。

令和2年8月

第10回神戸国際フルートコンクールの開催発表

5日 国際的な音楽コンクールの中止が相次ぐなか、令和3年に開催される「第10回神戸国際フルートコンクール」の開催方針を発表。若手フルート奏者の登竜門として、第一線の国際舞台で活躍する演奏家を輩出しているコンクールです。コロナ禍の逆風にありますが、神戸では音楽活動の火を消さないというメッセージを強く発信しました。

令和2年9月

「東遊園地」再整備計画

24日 建築家の安藤忠雄さんが設計する図書館「こども本の森 神戸」の建設が始まりました。安藤忠雄さんが建設し、神戸市に寄附して頂く予定です。

東遊園地は、明治開港をきっかけに外国人居留地の娯楽施設としてつくられた歴史ある公園です。平成28年にむき出しの土のグラウンドから芝生広場にリニューアルすると、平日土日を問わず多くの方々が楽しむようになりました。

今回の図書館の整備にあわせて、東遊園地を4つの広場にリニューアルします。たくさんの市民の方々が楽しめる空間にしたいと思います。

神戸市役所「副業人材」40名を募集

24日 フルリモートで広報関連の仕事をする副業人材、40名を募集しました。約1,400人から応募があり、すでに仕事が始まっています。

Withコロナの時代には、テレワークの拡大など働き方が多様化し、「副業」という働き方が見直されました。自分の時間を一つの組織だけでなく、スキルや経験を求められるところで生かしたい方が増えています。一方で、企業側も副業解禁を拡大しています。

神戸市役所に出勤する必要がないので、東京で働いている神戸出身やゆかりのある方に参加いただき、新しい視点で街の魅力を高めたいと思います。

令和2年10月

医療産業都市の新拠点「クリエイティブラボ神戸（CLIK）」

10日 国内最大級のバイオメディカルクラスターとして成長した「医療産業都市」に、スタートアップから大企業までが入居する新たな施設がオープンしました。100社以上が入居可能で、入居者らが交流し、新たなイノベーション（技術革新）を次々と生み出すことを狙っています。

また、神戸医療産業都市推進機構理事長である本庶 佑氏のノーベル生理学・医学賞受賞を記念した研究施設「次世代医療開発センター」も今年春にオープンします。

神戸港・新港突堤西地区の再開発、令和3年一部開業へ

22日 新港突堤西地区で建設中である文化施設棟の名称が「神戸ポートミュージアム」に決まりました。音や光などの演出を加えたアクアリウム（水族館）を中心に、飲食店が集まるフードホールやクラシックカー展示が楽しめます。令和3年秋頃に開業予定です。

この地区には、フェリシモの新本社ビルが令和3年1月に、その後もマンション・商業施設などが次々に整備されます。かつて神戸港の物流で賑わってきた地区が、ウォーターフロントを楽しむ賑わいの街に変わります。

令和2年11月

中央市民病院での「新型コロナ対応臨時病棟」の開設

コロナ

9日 新型コロナウイルス患者の重症患者の治療に特化した臨時病棟を新たに開設しました。昨年5月に、再びの感染拡大に備えて、中央市民病院敷地内の駐車場に独立した専用病棟を建てることを決断しました。この病棟では36ある病床の全てで重症患者の治療ができます。

これまでは中央市民病院の既存の病棟を分けて対応してきましたが、これからは別の建物で重症患者を受け入れられるので、重症患者に適切な医療が提供でき、院内感染のリスクを減らすことが期待できます。

久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。既に会員の方は、新たに会員になっていただける方をご紹介ください。

ご連絡は
❶お電話で 078-222-0155
❷ネットで 久元きぞう 検索 クリック

この1年の主な取り組み

令和元年10月

フジドリームエアラインズが神戸空港に就航

27日　神戸空港にフジドリームエアラインズが就航し、出雲と松本への2路線を開設。さらに12月には高知へ、3月には青森への運航を開始。「関西3空港懇談会」が神戸空港の発着枠を1日60便（30往復）から80便（40往復）に拡大したことで、新たなエアラインの乗入れにつながりました。

令和元年11月

国連機関のイノベーション拠点を誘致

28日　UNOPS（国連プロジェクトサービス機関）が、SDGs上の課題を解決するために、世界各地にイノベーション拠点の開設を計画しています。その中で、世界3か所目、アジア初となる拠点を神戸に開設することを合意しました。

昨年11月に開設されたこの拠点には、世界98か国、624社から選ばれた5社のスタートアップ（起業家）が入居。気候変動や貧困をテーマに国連が活動する開発途上国での事業展開を目指します。

令和元年12月

人口減少打開策「リノベーション・神戸」第2弾

18日　まちやくらしの質を飛躍的に高めることで、住みたいと思える街にしていくプロジェクト「リノベーション・神戸」をはじめました。その第2弾では、名谷駅、垂水駅、西神中央駅で、商業・オフィス機能とともに、図書館や保育施設などを充実していくことを発表しました。それぞれのエリアの「顔」といえる「駅」を見違えるようにしていきます。

令和2年2月

進む「都心・三宮再整備」

阪急神戸三宮駅に隣接する「神戸阪急ビル」新築工事が今年春の開業に向けて進んでいます。さらに、JR三ノ宮駅では、三宮ターミナルビルが解体されました。

これらの東側に西日本最大級のバスターミナルを備えたビルを建設する計画です。三菱地所を代表とするグループが事業主体に選ばれました。三宮が大きく変わっていく姿が徐々に見えてきました。

令和2年3月

「内定取消学生」と「ひとり親家庭」を対象とした緊急雇用　コロナ

19日　新型コロナによる経済状況の悪化を踏まえて、採用内定が取り消しになった新卒者、離職したひとり親家庭の方を、神戸市の職員（会計年度任用職員）として採用することを発表。それぞれ最大100名の枠で募集したところ、計42名の方が採用となっています。

令和2年4月

待機児童の大幅な減少

1日　令和元年度には約1,400人分の保育定員を拡大しました。4月1日現在の待機児童は前年に比べ165人減り、52人となりました。厚生労働省によると、減少数で全国市町村のなかで2位となります。これからも待機児童の解消に全力で取り組んでいきます。

軽症者向け宿泊療養施設を確保　コロナ

11日　新型コロナウイルスで軽症あるいは無症状である患者の宿泊療養施設として、ポートアイランドにあるニチイ学館の研修施設（100室）の運用を開始しました。その後、三宮にあるホテル2か所を確保し、合計298室で運用しています（令和2年12月現在）。

独自の飲食店支援策　コロナ

13日　飲食店の配達サービスを代行する「Uber Eats（ウーバーイーツ）」や「出前館」と連携した飲食店などへの支援を始めました。緊急事態宣言による外出自粛で客足が遠のいたことへの対策です。

さらに、配達区域外となる北区や西区の住宅団地には、三宮などの飲食店がキッチンカーを借りて出店する事業をはじめました。

こうべ医療者応援ファンド　コロナ

24日　感染症に立ち向かう医療従事者の活動を応援するために、市民や企業から寄付金を募る「こうべ医療者応援ファンド」を立ち上げました。

昨年12月までに3,200件、5億7千万円を超える寄付が集まりました。

令和2年5月

就学援助世帯への昼食支援　コロナ

11日　給食の提供が長くできていないことから、経済的な配慮が必要なご家庭の子どもたちに食品を配りました。民間企業などの協力で頂いたレトルト食品やカップ麺などを約1万5千人に届けました。

「特別定額給付金」の支給　コロナ

14日　国民一人当たり10万円を配る「特別定額給付金」の郵送での申請書の発送をはじめました。人口100万人以上の政令市で最速です。

4月20日の閣議決定から3日後に「特別定額給付金準備室」を設置、作業場所と印刷業者を早く確保できたことが功を奏し、大都市ではトップクラスの早さで支給が進められ、7月上旬には申請分の99%を配付できました。

里山・農村での新しい暮らしのあり方を提案

14日　「里山農村地域活性化ビジョン」を発表しました。東京23区や大阪市はほぼ全域が市街地であるのと異なり、神戸市は「農村・里山」という別の顔を持っています。コロナの感染拡大によって、人口が密集した都市で暮らし働くスタイルが見直されています。自然と文化遺産など色とりどりの魅力を持っている里山エリアが、新たな政策展開の場になると考えています。

コロナで苦しむ中小企業への新たな補助制度　コロナ

18日　売上が減少した飲食店など店舗の家賃を軽減する補助制度を創設しました。加えて、飲食店の宅配進出やテレワークの導入など新しいチャレンジをする事業者への支援も始めました。家賃軽減は3,766件、チャレンジ補助は8,482件の申請を受付けました。

六甲山上スマートシティ構想

28日　日本一美しいクリエイティブでスマートな空間を目指して、「六甲山上スマートシティ構想」を発表。働き方改革やリモートワーク、さらにワーケーションが拡大するなかで、これまでのように六甲山を観光だけで考えるのでなく、山上の豊かな自然のなかだからこそ、創造性を発揮できるビジネス空間として利用する方針を打ち出しました。

令和元年12月に、使われなくなった企業保養所などを、IT、デザイン、広告、映像制作など都市型創造産業向けのオフィスに改造できるように規制を緩和しました。さまざまな支援策を組み合わせて、民間企業の誘致を進めています。すでに2社のオフィス整備が決まりました。

また、山上の不便さを最先端のテクノロジーで打開する「Be Smart KOBE」プロジェクトの実証実験として、ドローン配送で山上と市街地を結びました。

令和2年6月

市営地下鉄北神線スタート

1日　北神急行電鉄の市営化が実現しました。これまでの北神急行が市営地下鉄と一体的に運営されます。これによって、谷上・三宮間の運賃が550円からほぼ半額の280円に下がりました。三宮などの市街地と、北区の里山や有馬温泉がさらに近くなります。これらの地域には魅力があふれています。それがたくさんの方々に伝わるようにさらなる施策展開を進めます。

ICTを活用した生活困窮者への学習支援　コロナ

1日　新型コロナの影響で学校に行けない中学3年生、とりわけ塾に行っていない生活困窮世帯の生徒への、自宅でのオンライン学習指導をはじめました。講師は大学生です。新型コロナの影響でアルバイト収入の減少した大学生が増えており、謝礼を払うことで大学生をサポートするねらいもあります。「家庭教師のトライ」との連携事業です。

自動PCR検査ロボット開発　コロナ

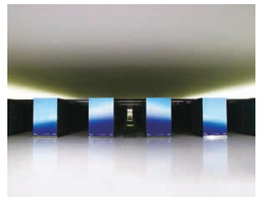
3日　株式会社メディカロイドとともに、新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、自動PCR検査ロボットシステムの開発を進めることを発表。

メディカロイドは、神戸に本社を置く、川崎重工とシスメックスによる合弁会社で、国内初となる手術支援ロボットの製造販売の承認を受け、12月に初めての手術が神戸大学病院で行われたことで注目を集めています。

「ストリートピアノ」を三井住友銀行前などに設置

19日　三井住友銀行神戸本部ビル前広場に「ストリートピアノ」を設置。この1年間に、JR新神戸駅、地下鉄海岸線の駅に設置され、合計約20台が利用されています。旧居留地や三宮、地下街や駅などで、ピアノを奏でたり、演奏に耳を傾けたり、街なかに新しいシーンが生まれています。

スーパーコンピュータ「富岳」世界一に



22日　スーパーコンピュータの世界ランキングが発表され、理化学研究所の「富岳」が計算性能を示す主要4部門で世界1位となりました。新型コロナのような感染症への対応をはじめ、画期的なイノベーション（技術革新）を創り出すことを期待します。

PCR検査体制の拡大　コロナ

29日　神戸市医師会と連携した「神戸市新型コロナウイルス検査センター」を開設。市内の診療所等の医師が依頼した患者の検査を行います。現在は、1日最大40件の検査がドライブスルー方式で行えます。

PCR検査体制は、行政検査と病院・医師会によるもの、さらにシスメックスの検査センターを加え、1日当たり最大682件に拡大しています。

「図書館」が変わります

30日　中央図書館では、地下鉄海岸線の三宮・花時計前駅に予約図書の自動受取機を設置。朝5時30分から深夜0時まで受け取れるようになり、お勤めの方にも図書館が利用しやすくなりました。

また、地下鉄名谷駅前の大丸須磨店の中に、「名谷図書館」が今年3月24日に開館します。店内から自然と図書館へ誘われるようなつくりで、木材を多用した内装、親子づれのためのスペースが特色です。約30の座席で事前予約できるシステムを導入します。

コロナ…新型コロナ対応の施策です。